



豊かな自然・
かがやく文化
大好き阿賀町

～「阿賀町15年教育」で未来の創り手を育む～

阿賀町学習指導センターだより

令和3年7月1日（木）№7

学校訪問より vol. 5 ～津川小 関田 有佑 先生～

6年算数 単元「分数÷分数」、2時間目の授業です。ねらいは、「除数の分子が1以上のとき1dLのペンキでぬれる面積を、既習事項を生かして考えることができる。」です。

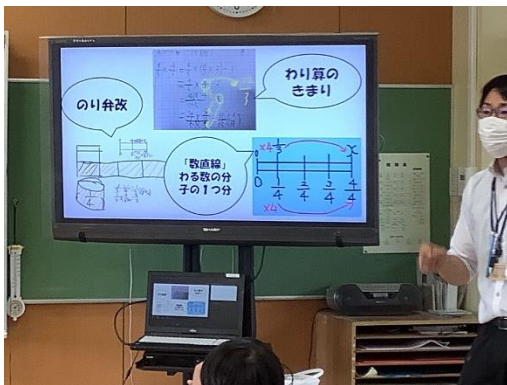
教室に入ると、津川小6年生のみなさんと関田先生の軽妙なやり取り。そして、学習が始まるやいなや集中する子どもたち。関田先生の学級経営のすばらしさの一端がうかがえました。



導入。ディスプレイに「へいの写真」を投影。「へい」が等分割されるアニメーションにより子どもたちは前時以前の学習を想起していきます。(左上写真)それを手助けするよう、壁面にも学習履歴(足跡)が掲示されています。見事です。

ディスプレイの画像から、既習の「分数÷整数」の確認、そして問題提示。問題の除数「整数」部分を「分数」に変え、「分数÷分数」の立式ができることも確認します。

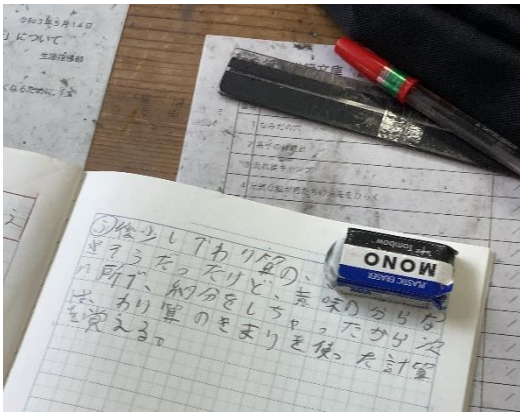
立式後、課題「 $2/5 \div 3/4$ の計算の仕方を考えよう」を設定します。子どもたちに解決の見通しをもたせるため、子どもたちの発言から既習から3つの方略、「のり弁改(面積図)を使えばよい」「線分図の考えを使えばよい」「わり算のきまりを使う」を共有しました。ここでもディスプレイに前時の子どもたちの考え(ノート)を投影。「言葉+画像」でさらに方略の理解を深めさせます。子どもたちは身を乗り出して聞き入ります。関田先生の見通しを持たせる場面での手だては大変すばらしかったです。(左中写真)



見通しを持たせ、即座に自力解決に移ったことも、子どもたちの学習を断ち切ることにならず、大変よかったです。

課題解決場面。子どもたちは3つの方略のうち、1つを選択し自力解決をします。その後、方略ごとにグルーピング。「のり弁改」を選んだ子どもたちは、関田先生が「できてるよ。大丈夫。」と自信をつけた子どもの周りに集まり、その説明を聞き入ります。課題解決中盤。それぞれの方





略を用いて解決した子どもたちの発表。ここではタブレット端末とディスプレイ両方を活用します。手元の画像、ディスプレイの画像のいずれでも仲間の考えを確認できるので効果的でした。(前頁下写真)

学習のふり返り。子どもたちは今回の学習の難しさを実感しながらも、「分かったこと」「次はこうする」といった肯定的な評価を行うとともに次時の見通しをもつことができていました。

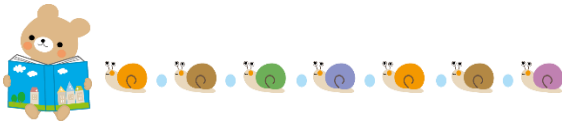
左写真では、「自分のつまずき」を認識し、それを「解決するための方略」が書かれていました。これこそ、「モニタリングーコントロール～自己調整する子どもの姿」の現れです。子どもが力を付けていますね。

関田先生の学級経営を土台とした授業づくり、子どもたちが時間中精一杯考え、発言できるように教師からの説明や繰り返し指示を最小限にとどめた姿勢、随所に「分からないこと」「困ったこと」を表出、それを全体共有させ、学級で考えようとする指導観が感じられた授業でした。

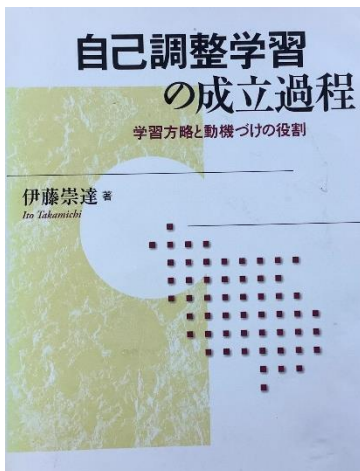
学習の主役は子どもたちです。このことを意識せずに、主体的・対話的で深い学びは実現しません。



書籍紹介



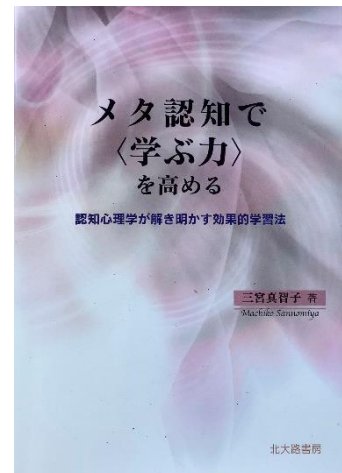
次の3冊をご紹介します。



伊藤崇達 著
北大路書房



石井順治 著
ぎょうせい



三宮真知子 著
北大路書房

発行 阿賀町学習指導センター

住所 〒959-4392 東蒲原郡阿賀町鹿瀬 8931 番地 1

電話 0254-92-3337 FAX 0254-92-2116

E-mail kohiyama_hyk4042@town.aga.lg.jp kyoiku3@town.aga.ed.jp



町の鳥 ウグイス